

研究名：当院における母乳バンクからのドナーミルクの使用状況と

ドナー登録に関する後方視的検討

～ドナーになってくださった方へ～

1．研究の目的

日本では諸外国から遅れること100年の2017年に母乳バンクが設立されました。早産で生まれたお子さんなどではどうしても人工乳が使用できないお子さんがいます。その子のお母さんからの母乳が足りない場合には母乳バンクからのドナーミルクが使用しています。母乳バンクからのドナーミルクの使用は日本全国に広がってきました。そこで当院で母乳を提供して下さるお母さん（ドナー）の登録状況を調査させていただき、今後も安定的にドナーミルクを供給する方法を検討したいと考えています。

2．研究の方法

研究対象：2020年2月から2024年3月までにドナー登録を行ったお母さん

研究期間：倫理審査委員会承認後～2025年6月30日

研究方法：データ収集を電子カルテ、ドナー登録時のエントリーシートから後視的に行います。

3．研究に用いる情報の種類

年齢、登録時の分娩後期間、分娩週数、児の出生体重、性別、母乳バンクを知った契機等を収集します。

患者さんの氏名など、本人を特定出来る一切の個人情報は調査対象ではなく、個人情報は保守されます。

4．情報の公表

研究内容は学会発表や学术论文の形で公表する予定です。

5．研究実施機関

国立成育医療研究センター

6．お問合せ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、**2024年8月1日までに**下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

国立成育医療研究センター 新生児科 和田友香

住所：〒157-8535 東京都世田谷区大蔵 2-10-1

電話：03-3416-0181

研究責任者：

国立成育医療研究センター 新生児科 和田友香

研究名：当院における母乳バンクからのドナーミルクの使用状況と

ドナー登録に関する後方視的検討

～レシピエントの代諾者様へ～

1．研究の目的

日本では諸外国から遅れること100年の2017年に母乳バンクが設立され、母乳バンクからのドナーミルクの使用が日本全国に広がってきました。このおかげで多くのお子さんにおいて合併症の発症を抑えることができ、予後も改善してきていると推測されています。しかしその一方でドナーミルクが不足するのではないかと懸念があります。そこで当院でのドナーミルクの使用状況（使用したお子さんの疾患背景、使用量など）を調査させていただき、今後も安定的にドナーミルクを供給する方法を検討したいと考えています。

2．研究の方法

研究対象：当センターNICUで2018年11月から2024年3月までにドナーミルクを使用した児

研究期間：倫理審査委員会承認後～2025年6月30日

研究方法：データ収集を電子カルテ、母乳バンクのデータベースから後視的に行います。

3．研究に用いる情報の種類

在胎週数、出生体重、性別、アプガースコア、使用理由、ドナーミルク総使用量等を収集します。

患者さんの氏名など、本人を特定出来る一切の個人情報は調査対象ではなく、個人情報は保守されます。

4．情報の公表

研究内容は学会発表や学術論文の形で公表する予定です。

5．研究実施機関

国立成育医療研究センター

6．お問合せ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、**2024年8月1日までに**下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

国立成育医療研究センター 新生児科 和田友香

住所：〒157-8535 東京都世田谷区大蔵 2-10-1

電話：03-3416-0181

研究責任者：

国立成育医療研究センター 新生児科 和田友香